授業者 森竹高裕

- 1 日時 平成 年1月24日(水) 第2時 理科室
- 2 単元名 ものの温まりかた 12時間扱い/本時は第7時
- 3 本時の授業
- (1)目標 これまでの現象を振り返ることを通し、温められた空気の粒がどのように変化をしたのか仮 説を立てることができる。

(2)展開

学習の流れと予想される子どものあらわれ

空気が温まると、空気の粒がどのようになったから袋が膨らん

- a.空気くんの数が増えた。 c.大きさが大きくなった。

だのだろう。

b.外側に集まった。 d.動く速さが速くなった。

班の人同士(4人程度)で相談をしよう。【小グループ】

- ・私の考えを絵にまとめたから、ノートを見てください。
- さんの考えが、なるほどと思ったから、意見を変えるよ

<u>_____i</u> 自分たちが空気くんになって、ロールプレー(劇化)をしてみよう

a.数が増えた:人数はどこから増やそうか?

b.外側に集まる:袋の真ん中はどうしたらいいのだろう?

c. 大きくなった: どうやって体を大きくしようか?

d.速くなった:あっちこっちに体を動かして膨らめよう。

班の考えを紹介し合いあおう。【一斉学習】

- a . 空気くんの数が増えた
- b.外側に集まった。
- c . 大きさが大きくなった。
- d.動く早さが早くなった。

蚊帳をつり、動作化 しながら説明する。

他のグループに質問したり意見を言おう。

- ボールは全体的に膨らんだのだから b はおかしい。
- ・ボールは閉じこめられているのだから a はおかしい。
- c で、人の体は大きく膨れることができないな。

予想がいろいろ出たけれど、本当はどうなっているのだろう。

留意点

前単元で空気の粒にはすき 間があることを押さえる

前時で自分の仮説を立て、 本時では、班ごと意見交換 をおこなう。

評価

温められた空気の粒がどのよ うに変化をしたのか仮説を立て ることができたか。(思考)

個々の意見を出し合い、違 う立場の考えを知る。

カーテンなどを使い劇化を することで、より考えを深 めさせたい。

模式図などを使って説明さ せたい。

蚊帳を吊ることで閉じられ た空間を作り、蚊帳が膨ら んだままの状態でいるため にはどうすればいいのか動 作化して考えさせる。

次回、ゲストティチャーか ら話を伺うことを予告する。 GT: 久田隆基氏(静岡大 学教育学部)